

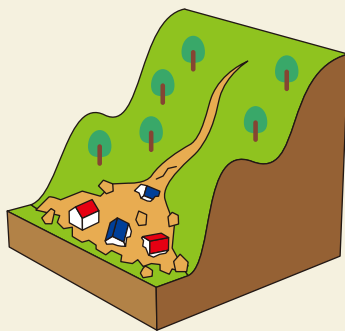
大雨が降るとどうなるの？

まずは風水害はどのようなものか、なぜ起こるのか、起こるとどうなるのか、知っておこう！

土砂災害とは

土石流

山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などの大量の水と一緒に津波のように襲ってくる災害。



前兆現象



急に川の水がにごり流木がまざる



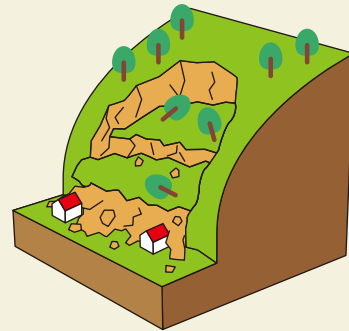
雨が降り続けているのに川の水位が下がる



山鳴りがする

地すべり

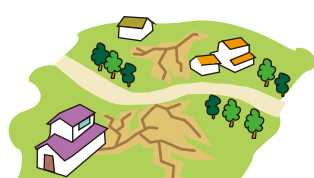
比較的緩やかな斜面で地中の粘土層がゆっくりと動き出す現象。一度に広範囲で発生するので、住宅や道路などに大きな被害がでます。



前兆現象



地下水など急激な変化で、井戸の水が濁る



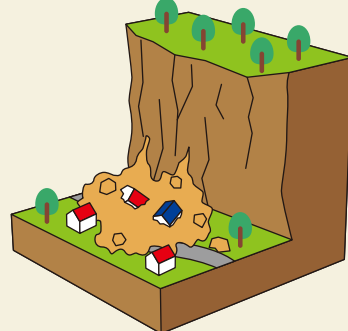
地割れができる



斜面から水が噴き出す

急傾斜地の崩壊

斜面が突然崩れ落ちる災害。地震でも発生する。



前兆現象



がけから小石がぱらぱら落ちてくる



がけに割れ目が見える



がけから水が湧き出ている

前兆現象は、土砂災害の危険性が高まっていることを示しているよ。この現象を見たらすぐ避難しよう。



警戒区域の種類

土砂災害警戒区域

土砂災害が発生した場合に住民の生命や身体に危害が生じるおそれがある区域
(通称:イエローゾーン)

警戒避難体制の整備

【市町村】

土砂災害から生命及び身体を守るため、災害情報の伝達や避難が早くできるように警戒避難体制の整備が図られます。

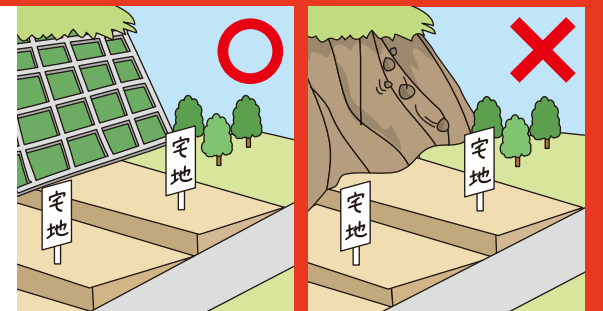


土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民の生命や身体に著しい危害が生じるおそれがある区域(通称:レッドゾーン)

特定の開発行為に対する許可制

【都道府県】

住宅宅地分譲や災害時要支援者関連施設の建築のための開発行為は、基準に添ったものに限って許可されます。



建築物の構造規制

【建築主事を置く地方公共団体等】※

居室を有する建築物は、作用すると想定される衝撃等に対して建築物の構造が安全かどうか建築確認がされます。



建築物の移転勧告

【都道府県】

土砂災害時に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれのある建築物の所有者に対し、移転等の勧告が図られます。



※大東市では建築主事を置いていないため、詳細については大阪府にお問い合わせください。